

こども家庭庁委託事業
地域の人材による子育て支援活動強化研修

地域子育て支援拠点研修 東京開催

子育て家庭を地域で支えあう仕組みの基盤強化のため、地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業に携わる従事者、行政担当者対象の研修です。最新の行政説明、講義、事例報告、パネルディスカッションなどから、実践的に学ぶ機会とします。

2024年1月28日(日)

10:00~16:15

(受付9:30~)

参加無料

●会場 東京ウィメンズプラザ ホール

(東京都渋谷区神宮前5-53-67)

●定員 100名

(事前申込・先着順・定員になり次第締切)

●対象

- 地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者または従事予定の方
- 行政の事業担当者
- 地域において、子育て支援に従事している方



- アクセス・JR渋谷駅徒歩12分、
・東京メトロ表参道駅から徒歩7分

- 主催 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- 後援(予定) 東京都・(社福)全国社会福祉協議会
- 協力 NPO法人せたがや子育てネット

フ ロ グ ラ ム

9:30~ 受付開始
10:00~10:10 開会挨拶

10:10~11:00 プログラム1 行政説明
地域の子育て支援に関する施策の現状

令和5年4月からこども家庭庁が創設され、新たな施策も注目されています。地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業の概要、および子ども・家庭支援をめぐる最新情報についてご説明いただきます。

説明 こども家庭庁成育局成育環境課
コーディネーター 奥山千鶴子
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

11:00~12:00 プログラム2 基調講演
子どものからだと心をはぐくむ環境とは

目の前の子どもたちのからだかどのような状態にあるのか、子どもたちは自らのからだを使ってどのような発信をしているのか。コロナ禍を通して、子どもたちのからだや心に起きた変化や、子どもをとりまく環境について、学校保健学、教育生理学、発達学、体育学を専門領域として研究されている野井先生をお招きして最新の研究データから科学的にひもといいただきます。子どもの“からだ”にこだわり、子どものからだと心をはぐくむ環境について一緒に考えてみましょう。

講師 野井真吾さん 日本体育大学教授 体育学部長 子どものからだ研究所所長

お昼休み

13:15~16:10 プログラム3 パネルディスカッション
多様なニーズに応えるために地域子育て支援拠点にできること
~親のつながりづくりと子どもの発達や
成長の場としての環境設定を考える

発達の不安やつながりづらさを抱える子育て家庭のニーズに応えるために、地域子育て支援拠点にできることは何か。ひろばを利用しづらい子育て家庭へのアプローチも視野に入れて、ひろばにおける創意工夫や屋外空間の活用、外遊びを取り入れた活動などの実践報告を交えながら地域を基盤とした地域子育て支援拠点の可能性を探ります。

パネリスト

石山恭子さん NPO法人子育て支援グループamigo 理事長

北口ひろみさん NPO法人備前プレーパークの会 代表理事

コメンテーター

野井真吾さん 日本体育大学教授 体育学部長 子どものからだ研究所所長

コーディネーター

松田妙子さん NPO法人せたがや子育てネット 代表理事

16:10~16:15 終了挨拶

お申込みは専用WEBページから

<https://kosodatehiroba.com/188tokyo.html>



お問合せ：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

〒222-0037 横浜市港北区大倉山1-12-18-303

TEL:045-531-2888/045-546-9970(受付時間：平日9:00~17:00)

FAX:045-512-4971

E-mail:seminar@kosodatehiroba.com